

「鎌倉きらきら白書（平成17年度鎌倉市次世代育成きらきらプラン推進状況報告書）」への意見・要望・感想等に対する回答

意見数 38人 85件

No.	部	項目	頁	ご意見・ご要望・ご感想	回答	実施主体
1	第2章	重点課題1：子育ての経済的負担の軽減を図ります	10	子どもを増やすには経済的支援が不可欠だと思います。	16年1月に実施したニーズ調査の結果からも同様のご意見を多数いただき、鎌倉市では次世代育成きらきらプランの中で重点課題の一つとして位置づけました。推進状況報告書の中でも記載のとおり、児童手当の拡充や小児医療費の助成、幼稚園就園奨励費補助金などで経済的支援の充実に努めているところです。今後とも経済的支援のあり方について検討し、充実に努めてまいります。	こどもみらい課
2				次世代育成プラン作成当初の市の回答と変わってきたのは大歓迎。これも、国の方針が去年あたりから変わったからでしょうか？	「重点課題への取組」は、ニーズ調査や次世代育成がまくら市民会議、次世代育成支援対策協議会、団体別懇談会等において寄せられた意見・要望を踏まえて、緊急的・重点的課題として「次世代育成きらきらプラン」策定当初から位置付けています。	
3				次世代育成プランは、少子化対策が根本です。方向性を変えてください。鎌倉に住んでもらって、子どもを産んでもらわないといけないのですから、悩んだら、困ったらの受け皿は二次的なものです。鎌倉市の育成プランは、二次的な要素が非常に多いです。方向性が明らかに間違っています。どこに住んで、どこで生むかを決定するプロセスとして、利便性、教育、教育費、環境、病院、物価などがあると思います。子育て支援があるから住もうなんて人は皆無じゃないでしょうか？子育て支援団体への支援、助成を減らして、家庭の経済的負担の軽減に、実質本位になってください。子育てを終えた人の意見を重視しないで、これから産める人、産む人の意見を重視してください。	「鎌倉市次世代育成きらきらプラン」は国の策定指針を踏まえ、3つの基本的視点に立って、6つの基本目標を設定し、幅広い施策を総合的に推進していくことによって、「子どもが健やかに育つまち、子育ての喜びが実感できるまち、子育て支援を通してともに育つまち・鎌倉」の実現に向けて取り組んでいます。地域における子育て支援についても基本目標の一つとして掲げ、その推進が必要だと考えております。また、プラン策定時のニーズ調査では、就学前児童を持つ保護者2,000人、就学児童を持つ保護者2,000人、20歳代・30歳代未婚男女500人、40歳代・50歳代男女500人、成人式参加者を対象に実施しており、幅広い世代の方からご意見をいただきました。今回の「きらきら白書」に対しての意見募集を行った結果は、8月15日現在で38人（20代3人、30代26人、50代2人、無回答7人。男性1人、女性36人、無回答1人。）の市民の皆様から意見をいただいております。	

No.	部	項目	頁	ご意見・ご要望・ご感想	回答	実施主体
4	第2章	重点課題1：子育ての経済的負担の軽減を図ります	10	所得に応じた、補助金、手当の支給額減額を撤廃してください。補助金、手当額が増えても多少であり、所得に応じた支給額が減額される方がかなり不公平である。民主主義なのだから撤廃して欲しい。撤廃は無理としても、減額率を減らしてください。	「私立幼稚園等就園奨励費補助金」については、一部国の補助（国補助1/3、市補助2/3）を受けている階層と市単独で補助している階層に分けられます。国が定める所得階層区分を越えてしまい国の補助制度の対象とならない保護者に対しては、市単独で助成をしております。 補助額については、国で各階層別に補助対象限度額が決められており、その制度改正に合わせ増額を図っております。また、市単独部分では昨年度に続き、各区分一律3,000円を増額し、30,000円～41,000円の補助をしています。また、税制改正にともない市民税所得割額の基準額を見直しし、受益者が不利にならないよう考慮しており、今後も、保護者負担の軽減に努めてまいりたいと考えております。 児童手当は国の施策であり、所得制限の緩和や対象年齢の引き上げ等、国の動向を注視し関係機関へ要望等をしていきたいと考えています。	こどもみらい課 こども相談課
5		重点課題2：鎌倉らしさを生かし子どもの健やかで豊かな成長を支援する取組を進めます	11	雨のときにどうしても家の中でのゲームや買い物に付き合わされたりと、悪循環になり、つい怒ってしまうことも。こんな時に、室内で遊べる施設が近くにあれば、子ども達も喜ぶだろうと何度思ったか知れませんが。（3件）	現在鎌倉市内で、室内で遊べる施設は、主に乳幼児とその保護者が集う子育て支援センターが、鎌倉・大船に1か所ずつあり、平成19年度には深沢に開設予定です。また、市内13か所に乳幼児から中学生までの子どもたちが自由に遊べる施設として、子ども会館を開設しています。平成19年度には七里ガ浜にも開設する予定です。	こどもみらい課
6				家の近くに安心して遊ばせられる場所がない。横浜市や藤沢市は子どもを連れていく施設が充実しているのに対し、鎌倉市はそういった施設があまりにも少ないので、そういう場所が増えることを希望します。	子どもたちが遊べる場所としての公園や、子ども会館の整備は順次進めてまいります。また、鎌倉市は、海や山などの自然に恵まれており、そうした資源を生かし、身近な地域で子どもたちが安全に安心して過ごせる場の確保と機会の提供に努めます。一日冒険遊び場の開催など、地域と連携した子どもの居場所作りを推進してまいります。	
7				野村総研跡地の近くに住んでいますが、なかなか整備されないのが残念です。立ち入り禁止の所も多く、せっかくの自然を生かしながら、良い活用を早く進めて欲しいです。	今年度は、野村橋の補強整備についての準備を行い、また緑地についての整備・維持管理等を市民の皆様と進めていこうと考えております。一日でも早くすべての整備を行い、市民の皆様に使っていただけるよう努力していきますので、ご協力をお願い致します。	文化・教養施設整備担当
8				産婦人科、小児科の病院を増やして欲しい。（3件）	現在市内にある分娩可能な施設は1箇所です。そのため、近隣の逗子市、横浜市及び藤沢市等の分娩可能な施設に対応していただくなど市民の皆様にはご不便をおかけしているのが現状です。 今後は関係機関とも調整し、市民の皆様が安心して生活できるように努力していきます。	市民健康課

No.	部	項目	頁	ご意見・ご要望・ご感想	回答	実施主体
9		基本目標3:子どもが心身ともに健やかに学び育つまちづくり	13	中高生のボランティア活動への支援。必要な研修などの実施。	中高生を主体としたボランティア活動団体の「シニアリーダーズクラブ」に対し、地域の小学生のリーダーとなり活動できるよう、必要な研修の場を設けています。	青少年課
10	第2章	基本目標4:子どもと子育てに優しいまちづくり	14	深沢地域やモノレールの下、北鎌倉駅付近、小袋谷から大船駅方面への歩道が狭く、子どもを連れて歩くのがとても大変です。ベビーカーを押している際、つまずいてしまうことが多々ある。(10件)	<p>市内の歩道については、道路自体が狭く十分な歩道幅員が確保されていない箇所が多いことは認識しています。歩道を広げるには、沿線私有地の買収などを行う必要がありますが、多大な予算を要することなどもあり、早期に対応することが困難な状況です。そこで、交通規制等の工夫をしながら既存の道路空間の活用を図るなど可能な限り歩行空間の創出に努めています。</p> <p>老朽化が著しい箇所は随時改修を行っているところですが、改修の要望が多く早急に対応することは難しい状況にあります。また、歩道段差の解消については、これまで市内の約350ヶ所整備してきましたが、今後さらに300ヶ所程度整備する予定です。</p> <p>モノレール下の道路は、自動車専用道路として整備された経過もあり、昭和60年に有料道路から公道化された時点では歩道が皆無でしたが、その後限られた道路用地の中で順次歩道を設置してきました。しかし、現在でも歩道用地が十分確保できないようなところでは、残念ながら歩道が狭い状況や未整備の箇所などがあります。</p> <p>部分的に凹凸が著しい箇所や陥没などの緊急性のある箇所につきましては、優先して対応していますので、具体的な場所がありましたらご連絡ください。</p> <p>3地域の県道につきましては、道路管理者である神奈川県藤沢土木事務所に照会し、あわせて対応を要請したところ、次の回答がありましたのでお伝えします。</p> <p>「深沢地域に関する県道は、国道134号から手広交差点、柏尾川沿いを經由して山崎跨線橋に至る県道304号(腰越大船線)、藤沢市藤沢から鎌倉市長谷二丁目までの県道32号(藤沢鎌倉線)があり、両路線とも歩道段差の改善を順次行ってまいります。北鎌倉駅付近の県道21号(横浜鎌倉線)は、観光客を中心とした歩行者が特に多く、かつ、現況道路幅員内で車道と分離した歩道を確保できないことから、平成17年度に路側帯部のカラー化を実施した際、できる限り凹凸の改善に努めました。小袋谷から大船駅方面へ向かう県道301号(大船停車場線)では、主要地方道横浜鎌倉線(レイ・ウェル鎌倉交差点付近)から大船消防署の大船駅寄りにある梅田橋付近までの延長約1キロメートル区間において、平成17年度から3カ年計画で歩道の再整備を実施しています。なお、段差改善が必要な場所などについて、お気付きの点がございましたら、その都度個別対応が可能な場合もありますので、ご連絡いただくと幸いです。」</p> <p>*鎌倉山ロータリーから深沢を通り小袋谷跨線橋に至る湘南モノレール沿いの道路は鎌倉市道大船西鎌倉線となっています。</p>	<p>道路整備課</p> <p>国県道対策担当</p>

No.	部	項目	頁	ご意見・ご要望・ご感想	回答	実施主体		
11	第2章	基本目標4：子どもと子育てに優しいまちづくり	14	鎌倉駅、大船駅東口にエレベーターが欲しい。(5件)	<ul style="list-style-type: none"> ・JR鎌倉駅については、広報(8月1日号)でお知らせしましたが、駅構内のバリアフリー化工事を今年度実施します。エレベーターは、東口の既存エスカレーター脇の階段部に1基、西口トイレ前の階段部に1基、地下通路中央部にホームへ移動するエレベーターを1基の計3基を設置します。エスカレーターは、北鎌倉側階段の既存エスカレーターを撤去した後に、上下方向2基を設置します。工事は9月から着工し、来年3月までには供用を開始する予定です。 ・大船駅東口再開発事業については、バリアフリーの点にも十分配慮しながら実施する予定であり、その中で、エレベーターやエスカレーターについても整備する予定です。当事業が竣工するまでの間の対応については、再開発事業に与える影響、駅施設への影響及び構造的な問題等も踏まえながら、JR東日本からの情報提供を受けつつ、下りエスカレーターやエレベーターの設置の可能性について検討しているところです。 	鎌倉深沢地域整備課 再開発課		
12				お年寄りのバリアフリーがあるように子どもの視線で見たバリアフリーの街にできたらいいと思う。	「子育てバリアフリー」の観点をもって、道路や公共施設の整備・充実をはじめ、子どもを事故や犯罪から守るための安全で安心できるまちづくりへの取組などの充実を図ります。	こどもみらい課		
13				校外学習か何かで小学生が集団で歩いていたが、狭い歩道で広がって歩いていたため、乳幼児を連れたままその集団が立ち去るまで歩くことができなかった。教師と目が合ったが何も言わずに行ってしまった。信号が点滅しているのに「早く、早く」と児童を渡らせている教師もいて、教師から教育しなおす必要があるのでは？	家庭や学校における日々の子育ての中で、だれに対しても思いやりの心もち、相手の立場に立って親切にする態度を養うことは大切なことです。狭い歩道を歩くときに、反対側から来る地域の方への配慮が足りなかったものと思います。今後とも、教員を含め子どもたちが思いやりの気持ちをもっていけるような教育を目指してまいります。	教育指導課		
14				特定14事業 14-1 通常保育事業	15	待機児を減らし、もっとスムーズに保育園に入園できるようにしてほしい。(3件)	<p>現在、保育所に入所できない児童を減らすための対策として、保育所の環境や運営に支障がない範囲で入所定員の枠を超えた受入を行っています。しかしながら、定員枠を超えた受入にも限界があるため公立、民間の保育所を問わず、施設整備が必要となっています。</p> <p>今後とも施設整備を計画的に進めるとともに弾力的な保育所の運営などにより、入所希望に応えられるよう取り組んでまいります。</p>	保育課
15				特定14事業 14-2 延長保育事業		夜7時までの保育園が多いが、都内に通勤の場合は、7時では間に合わない。	<p>保育所における保育時間は、開所時間の範囲内で、保護者の労働時間その他の家庭の状況等を考慮して保育所の長がこれを定めています。この保育時間を決めることは、在園児の生活リズムを守るということで非常に重要になってきます。</p> <p>現在、民間3園で午後8時までの延長保育を実施していますが、今後、午後8時までの延長保育について、公立園で実施を含めて取り組んでまいります。</p>	

No.	章	項目	頁	ご意見・ご要望・ご感想	回答	実施主体	
16		特定14事業 14-6 放課後児童健全育成事業	16	乳幼児の場合は時間短縮勤務があるが、小学生ではない。7時閉館では間に合わない。	利用時間の延長につきましては、保育園が午後7時まで延長保育を実施していること、また、子どもの家で長時間過ごすことの児童の負担も考慮して、平成17年度より利用時間を午後7時まで延長しました。延長時間の利用状況としては、大半の児童が午後7時よりも前に迎えがあり退所しています。午後7時以降の開設につきましては、利用者の状況等意向確認をしながら検討してまいります。	こどもみらい課	
17				子ども会館の学校休暇中の幼児の利用について改善して欲しい。午前中は幼児優先と時間で分けるなどにして欲しい。	学校休校日などで児童と乳幼児が同時時間帯に利用する際には、プレイルームで小学生がボール遊びや遊具等で遊んでいる時は、乳幼児には図書室で遊んでもらい、また、小学生の利用が少ない時は乳幼児にもプレイルームで遊んでもらうなど、室の利用方法を工夫しながら、乳幼児が安全に遊べるような配慮を徹底してまいります。		
18	第2章	特定14事業 14-6 放課後児童健全育成事業	16	小中学校の空き教室を利用することはできないか。時々の保護者不在へも対応できるように考えられないでしょうか。	子どもの家の配置については、子どもの家が児童のくつろぎの場となるように学校以外の場所で、かつ、学校からあまり遠くない場所に設置することを基本に考えています。小学校と離れた場所にある子どもの家については、今後、学校の近接地に設置できるよう検討していくことが必要だと考えており、空き教室の利用も視野に入れ、教育委員会と協議をしてまいります。		
19		特定14事業 14-8 乳幼児健康支援一時預かり事業（施設型）		病児保育の施設をつくってほしい。子供が一人なら会社も休めるが、二人になると病気で休むのも2倍になる。そうそう会社も休めない。	病後児保育を実施するには専用の部屋と看護師の配置が必要となります。病院や診療所へ委託するか既存の保育所に専用の保育室を設けて実施するか検討してまいります。		保育課
20		特定14事業 14-9 短期入所生活援助（ショートステイ）事業		出産時に申込みにしたのですが、2歳未満ということで断られてしまいました。1日でもみてもらえれば精神的に楽でした。	ショートステイの委託先を複数にして、2歳未満児について受け入れが可能となるよう検討してまいります。		こども相談課
21		特定14事業 14-10 一時保育事業		一時保育もすぐに定員がいっぱいになってしまっていてなかなか気軽に利用できない。	パートなど保護者の就労形態により認可保育所の入所基準に満たない場合、保護者の事故・疾病等による場合、あるいは育児リフレッシュ等の私的理由による場合など認可保育所8か所（公立2、民間6）で実施しています。今後とも保育所の施設整備等に併せ拡充充実を図ってまいります。		保育課
22				実家が遠方なため、子どもを預けて出かけることは困難だと思っていたが、このような制度があるなら利用したい。当日思いついた時に預けられると助かる。			

No.	章	項目	頁	ご意見・ご要望・ご感想	回答	実施主体
23	第2章	特定14事業 14-13 地域子育て支援センター事業	17	もっと駅の近くに欲しい。	大船子育て支援センターについては、駅周辺に用地もなく移設又新設は困難な状況にありますので、ご理解のうえご利用をお願いします。	こども相談課
24				週に何回かいいので、16時くらいまで開いていると嬉しいです。	夏季の開設時間延長については、今後予算も含め検討していきたいと考えております。なお、冬季については、現状の15時と考えております。	
25				子育て支援センターに行こうと思い、朝一で車を止めようとしたら満車でした。駐車場管理の方がおっしゃるには、サークル活動で利用している方が止めてしまったとのことでした。駐車場の確保をして欲しい。(3件)	子育て支援センターは、他の施設との複合施設ですので専用駐車場の確保は困難な状況です。施設状況をご理解のうえご利用をお願いします。なお、大船子育て支援センターには、暫定であります。駐車場を用意してありますのでご利用ください。	
26				第2子が生まれ、上の子の遊び場に困ったときに利用させていただいています。アドバイザーの方には大変お世話になっています。また、同じことで悩んでいるママの言葉で励まされます。(2件)	アドバイザーのさらなる資質の向上と利用しやすい環境づくりに今後も取り組んでまいります。	
27				特定14事業 14-14 つどいの広場事業	いまはレイウェルの子育てひろばによく通っていてとても助かっています。そういう場所をもっと欲しいです。	
28	基本目標1 1-1-8地域の民生委員 児童委員、主任児童委員の活動	18	主任児童委員の活動は子育てサロンが中心だったが、それに加えて要保護児童の発見、サポート、行政との橋渡しなど遊びの場の提供だけでなく、そこに出てこない地域の子育て家庭への見守り、声かけが必要。 子育てサロンを主催しているだけでなく、地元の幼稚園・保育園、学校との情報交換をして横のつながりをもっていく必要がある。 主任児童委員、民生委員児童委員ともに平均年齢が高すぎる。今の子育て中のお母さんと認識が違いすぎるので、若返りができないものではないでしょうか。	・主任児童委員は自主的に保育園や学校訪問を行うと共に、行政が行う学校、幼稚園等児童関係者で行う会議の場で情報交換を行っております。 ・民生委員児童委員並びに主任児童委員の年齢につきましては、厚生労働省にて定めた基準を基に、神奈川県、鎌倉市において、それぞれ基準を決めておりますが、いずれも年齢30歳以上であることとされています。 民生委員児童委員、主任児童委員の候補者を地域からご推薦いただく際に、年齢の課題についての対応は可能と考えますが、若い方を選出することは難しいのが現状です。また、相談者の年齢に幅がありますことから、民生委員児童委員、主任児童委員も年齢層を広くもてたらと考えます。	福祉政策課	
29			基本目標1 1-2-19 多世代交流地域共同拠点の創設	20		乳幼児から大人まで集えるような施設があると良い。

No.	章	項目	頁	ご意見・ご要望・ご感想	回答	実施主体
30	第2章	基本目標1 1-5-3 小児医療費助成	25	小児医療費助成制度を利用させてもらいとても助かっています。ちょっとした事でも迷わず受診して安心を得られています。	小児医療費助成制度を継続的に維持しながら、今後も制度の充実を目指して努力してまいります。	保険年金課
31				小児医療費助成を小学校6年生まで延ばして欲しい。	平成18年10月から通院医療費助成を所得制限付で小学3年生までに拡大します。 対象年齢の更なる拡大については、医療費が増加する傾向にある中で、保護者の負担を考え、いろいろな要望に耳を傾けながら、近隣各市の状況も勘案し、今後の課題としてまいります。	
32		基本目標1 1-5-8 児童手当		児童手当の所得制限をなくして欲しい。(2件)	国の施策であり、所得制限の緩和や対象年齢の引き上げ等、国の動向を注視し、関係機関等に対する要望を検討してまいります。	こども相談課
33		基本目標2 2-4-3 小児緊急医療支援事業	29	夜間救急の充実を願う(場所など)。小児科医がいないことがほとんどなので何とかして欲しい。(3件)	鎌倉市休日夜間急患診療所では、土曜日と休日の夜間に小児科に対応できる医師を配置しています。また、市内の毎夜間救急の受入れしている病院としては湘南鎌倉総合病院、鎌倉市の小児救急医療拠点病院としては藤沢市民病院が対応しています。本市のみならず、お子さんの専門的な診療を行う医療機関や医師が減少傾向にあるため医師の確保が難しいのが実態です。そこで、今後とも県や医療関係者と協議を重ね小児救急医療の体制整備に努めてまいります。	市民健康課
34		基本目標3 3-3-12 若者達が育ち合う場の創設	36	中学生が部活動外で気軽に運動したり音楽・ダンスなどの活動ができるような施設や場所。例えば、小中学校の体育館などの開放(週1回でも夕方から9時頃まででもバスケットボールやバレー、卓球など気軽にできるように)	玉縄青少年会館では、集会室を中学生等への卓球開放を行っています。(平日:午後3時~4時30分 土・日・祝日:午前9時~午後4時30分)また、鎌倉・玉縄両青少年会館では、音楽や軽スポーツ(ダンス、リズム体操等)が行える室があり自由に利用できます。(他の団体が使用の場合は不可)	青少年課
35		基本目標4 4-1-7 街区公園等の設置	40	最近小学生の遊ぶ場所が少なくなっているような気がします。公園内でボールの使用を禁止しているところが多いため、おもいきり動ける広い場所がありません。野球、サッカーなどができる公園を将来的に作ってはいただけないでしょうか。また、砂場や遊具の安全性の見直しをして欲しい。(7件)	公園の利用については、基本的に「他の人に迷惑になるような遊びはやめましょう。」ということで、ある程度、公園利用者同士のマナーに期待しているところです。街区公園という近隣住民にとって、身近で様々な利用される公園であることから、ボール遊びを考えると、乳幼児がいるような場合は行なわない、早朝・深夜は行なわない、利用時間を上手に振り分ける、バットは使わないなどの工夫を、利用者間で考えていただくのが良いのではと思います。 なお、砂場や遊具類については、安全性はもとより衛生面にも留意し、これまで以上に点検・補修などに努めてまいります。	公園海浜課

No.	章	項目	頁	ご意見・ご要望・ご感想	回答	実施主体
36	第2章	基本目標4 4-1-7 街区公園等の設置	40	たくさんあっていいと思います。日よけなど利用しやすいと助かります。	市内に215箇所 約20.3haの街区公園が設置されていますが、まだまだその設置要望が多いことから、その拡充に努めているところです。また、日かげや日なたについては、豊かな緑陰から提供できるように努めてまいります。	公園海浜課
37	その他の意見・要望など			保育園の延長の際に、夕食を食べさせて欲しい。	現在の午後7時降園の場合は、補食で対応しているのが現状です。「食育」が話題となり、家庭での大切なコミュニケーションの媒体の一つとして、夕食については家庭での食事が望ましいと考えております。	保育課
38				保育事業の充実を図る中で、教育という視点も入れて欲しい。就学を前に母親が仕事を持つかどうかで子どもにとって不利になるのではと心配になる。	保育所の保育内容は、「保育所保育指針」に基づいて行っています。その中で、「保育所保育の特性は、養護と教育の視点で行うところ」とあり、同年齢の子どもに必要な教育は、取入れられています。	
39				市内（駅前など）に広い授乳室やおむつ替えの場所が欲しい。（3件）	市役所では専用の授乳室を設置し、その中にもおむつ交換台の用意があります。各支所にはベビーベッドを設置しています。専用の授乳室はありませんが別室を用意することも可能ですので気軽にお声かけください。その他の施設も含め、「かまくら子育てナビきらきら」に情報を掲載していますのでご参照ください。	こどもみらい課
40				日曜に父親が子どもと遊べる室内の施設が欲しい。	子育て支援センターでは平成17年度から月に1回土曜日を開所し、お父さんにもご利用いただいています。子ども会館などより身近な場所にある施設において、日曜日の活用など検討してまいります。	
41				地域のサークル等をもっと増やして欲しい。	鎌倉市内で活動する子育て支援グループやサークルの情報は、「かまくら子育てナビきらきら」で紹介しています。また、市役所1階にある「かまくら子育てメディアスポット」では、地域で活動するサークルなどの情報提供やチラシの作成などの支援をしており、今後ともその充実を図ってまいります。	
42				幼稚園に入れて、パートタイムで働くのは夏休みがあり難しいと思えます。幼保一元化や幼稚園でも、夏休みの預かり保育をするなどの対策が必要だと思います。	平成18年10月に都道府県が幼稚園、保育所等のうち就学前の子どもに適切な教育・保育を提供する機能を持ったものを「認定こども園」として認定する制度が始まります。同制度や幼稚園における預かり保育も含め、市内私立幼稚園と意見交換してまいります。	
43				ママも気軽に参加できる託児つきのセミナーなどがあればいい。	市の委託事業として「かまくらママ'Sカレッジ」という講座を実施しています。この講座は0歳児からの託児を行っており親子で楽しめるものや親自身のリフレッシュとなるものなどの観点から企画しているものです。また、各協議会などの傍聴の際に託児を設けているものがありますのでご参加ください。	

No.	章	項目	頁	ご意見・ご要望・ご感想	回答	実施主体
44				子どもの食事がいつも悩みの種なので、みんなで食事のできる自由スペースがあると、他の子も見れたり、相談できたりして良い。	食事のできるフリースペースについては、マナーの遵守など利用される方の協力が不可欠です。公共施設での食事については衛生上の問題なども含め、今後検討してまいります。	
45				子育てのサークルを作って集まっているのですが、集まる場所がなかなかありません。生涯学習センターや体育館を子育てサークルには無料で貸していただきたいと思っています。また、他市では子育てサークルには活動費の助成金が出ると聞きますが、鎌倉市にはないので子育てには厳しい市だという印象です。	子育てサークルへの支援は、かまくら子育てメディアスポットでサークルのチラシやホームページの作成・配布、子育て支援情報誌「かまくら子育てナビ きらきら」で紹介するなどの周知を行っています。また、各学習センターやレイ・ウェル鎌倉、武道館、見田記念体育館には、子育てサークルなどが会合する際に子どもが飽きずに過ごせるようにプレイマットやブロックなどの貸し出しおもちゃを用意しています。集会室などの利用料の減免や、活動に対する助成は行っていませんが、今後とも子育てサークルに対する支援の方法を検討してまいります。	
46	その他の意見・要望など			鎌倉は非常に文化レベルの高い町ですが、それは市民一人ひとりの意識の高さにも顕れており、潜在的なマンパワーは計り知れないものがあると思います。（まだまだそれが有効利用されていないのが現状だと思います）それを如何に引き出し、この愛すべき鎌倉の発展のため、市民ぐるみの意識向上に役立てて行けるかが、今後の課題ではないでしょうか？市民の行政への期待は大きいと思いますが、単に何かをしてもらうのを待っているのではなく、自らが住み、また愛すべき我が子らの故郷となる鎌倉のためにそれぞれが能動的に関われる事柄を見つける事が重要で、そのような場の提供を、是非お願いしたいと思います。	基本理念である「子どもが健やかに育つまち 子育ての喜びが実感できるまち 子育て支援を通してともに育つまち・鎌倉」の実現には、行政や地域、企業など社会全体による支援が必要です。ご意見にありますとおり、市民の方々のご協力が得られるよう行政として工夫してまいります。	こどもみらい課
47				私立幼稚園に対して、鎌倉市が補助を出していると思いますが、その金額と意図はなんですか？補助に対する管理はどのようにされていますか？私立幼稚園の収入と支出のバランスを把握されていますか？	私立幼稚園への補助は次のとおりです。補助金は各交付要綱及び鎌倉市補助金等に係る予算の執行に関する取扱要綱に則して執行しています。なお、私立幼稚園の運営指導は神奈川県が行っているため、鎌倉市では私立幼稚園の運営費全体の収入と支出のバランスは把握しておりません。 鎌倉私立幼稚園協会補助金 鎌倉私立幼稚園協会に加盟する鎌倉市内22幼稚園の幼児教育振興のため（協会に対して1,257,000円）。 私立幼稚園教材教具購入費補助金 鎌倉市内の私立幼稚園が教材教具の購入に要した費用を補助し、幼児教育の充実を図るため（1園につき400,000円を限度）。 障害児保育運営費補助金 障害児保育の充実を図るため（幼稚園に就園している障害児1人につき月額21,000円）。	

No.	章	項目	頁	ご意見・ご要望・ご感想	回答	実施主体
48				公立幼稚園の開園を要望。小学校、中学校の空き教室を利用して公立幼稚園幼稚園を開園できませんか。	鎌倉市には23園の私立幼稚園があります。各幼稚園は独自の教育方針に基づいて運営され、特徴ある幼児教育が行われており、それは大切なことと考えています。鎌倉市では、幼稚園については民間の幼稚園で担っていただき、公立幼稚園の設置は考えておりません。 小学校の空き教室の質問については、最近の学校は、35人学級や少人数指導などきめ細かな学習面への対応や、児童生徒の生活面を充実するためのスペースなどが求められており、いわゆる空き教室はない状況です。 また、児童数に関しては、一時期減少していましたが現在は微増傾向にあります。	教育センター 学校施設課
49		その他の意見・要望など		もっと市内のPTAの力をきちんと認識して欲しい。子ども会、青少年指導員の活動とわけてもやっている人は同じ人なので一人の負担が大きくなっている。活動を部局ごとにわけず（役職が多い）、PTA中心にやっていけないのか。	PTAの活動も多岐にわたっています。他の子ども会や青少年指導員にもそれぞれ専門の活動（役割）があると思いますので、一緒にするのは難しいと思います。できましたら、地域の中で役割を分担していただけたら負担も軽減されると思います。	生涯学習課
50				青少年の健全育成のため、いろいろな事業をしていますが、大勢を対象とした場合の場所や施設がないため、他の市町の施設を利用しています。鎌倉市内で野外研修や活動をするための施設や設備を要望します。	ご指摘のとおり、本市には青少年野外活動施設はありません。施設の設置整備につきましては、今後の検討課題とさせていただきます。	
51				異年齢の子どもや異世代の地域の人々との関わりを持ち、地域の歴史や文化、自然を体験したり学ぶ機会などへの支援を団塊の世代の人たちや、中高生のボランティア活動参加を呼びかけてはいかがでしょうか。	異年齢の子どもや異世代間の交流を通し、地域との関わりを持ったり、地域の歴史を学んだりすることは、学校・社会教育現場や団塊世代等で構成するNPO等で実践されてきているところです。青少年課では、青少年指導員を委嘱し、地域の子どもたちとの交流や体験活動を行っており、また、地域の子ども会や中高生等で組織する「シニアリーダーズクラブ」へ支援を行い、異年齢の子どもたちとの交流の機会を図っています。	青少年課